

## 福祉サービス第三者評価結果

## ①第三者評価機関名

有限会社プログレ総合研究所

## ②事業者情報

|        |                        |           |                     |
|--------|------------------------|-----------|---------------------|
| 名称：    | ふじ学園                   | 種別：       | 児童発達支援センター<br>(福祉型) |
| 代表者氏名： | 管理者 高野 香里              | 定員(利用人数)： | 60 名                |
| 所在地：   | 〒 3440061 春日部市粕壁5435-1 | Tel       | 048-754-4017        |

## ③評価実施期間

令和 6年 7月 1日(契約日)～令和 7年 3月26日(評価結果確定日)

## ④総評

## ◇特に評価の高い点

・形骸化されていない災害対策を講じている  
 月2回避難訓練を実施しており、火災対策としては、室内発生と近所発生とで逃げるところを分けている。災害時には、「伝言ダイヤル」を利用することを保護者に通知しているが、日常ではなかなか利用することがないため、子どもの引き渡し訓練の際に、実際に伝言ダイヤルを使用することとした。伝言内容を引き渡し時の合言葉とすることで保護者の意識向上を図っている。また、備蓄品については、固定の場所に保管するのではなく、子ども達がどの場所で過ごしている時でも持ち出しができるよう、教室、廊下と人の移動時に持ち出し品も移動できるよう工夫されている。

・福

祉サービスの質の向上を目的とした「人財共育体系」の明確化  
 研修等の年間計画が策定され、法人内各階層、職種毎の研修の実施や外部研修受講等を通して、福祉サービスの質向上及び職員力向上を図る体制がある。また、職員に研修等の要望を聞く体制もあり、受講できるよう調整を図る等の工夫も行われている。

## ◇特にコメントを要する点

相談できる環境の周知方法については随時振り返りをし、周知が一層進むことを期待する  
 保護者との連絡にはシステムを利用しており、保護者はいつでも都合の良い時にシステムに入力をして相談ができる。お迎えの時には「いつでも何かあったら言ってくださいね」と声掛けをしている。他の人に相談内容が聞こえない相談室も用意されている。一見相談したい時に選択できる環境が組織として整備されているように見えるが、新しいものを導入した時には、それに対応が難しい人が存在することも否定できない。細かいニュアンスを文章で伝えることが難しい人、文字として残したくない人、職員に気軽に話しかけることが難しい人など、いろいろな状況を想定し、言いにくさはないか、相談環境が具体的にどのように用意されているか等を振り返り、相談できる環境整備の周知がいつそう進むことを期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

当法人の防災対策、人財育成の取り組みに対する評価をいただき、誠にありがとうございます。

防災対策については、形骸化することなく、実践的な訓練を重視し、避難経路の工夫や伝言ダイヤルの活用を通じて、保護者の意識向上にも努めています。備蓄品の配置にも柔軟性を持たせ、必要な場面で迅速に持ち出せる体制を整えています。今後も、さらなる防災意識の向上と訓練の充実を図ってまいります。

また、「人財共育体系」においては、研修の年間計画を基に、職員のスキル向上に努めています。職員の要望を反映した研修の機会提供を継続し、より質の高い福祉サービスの提供を目指してまいります。

ご指摘いただいた相談環境の周知についても、引き続き改善に努めます。システムや対面での相談機会を提供する一方で、細かいニュアンスを伝えにくい方や文字に残すことを避けたい方への配慮も必要です。相談しやすい環境が十分に機能しているかを振り返り、より柔軟な対応ができるよう努めてまいります。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり